

春日井市 スポーツ推進委員だより

題字 会長 神田 茂

第48号

平成26年8月1日

発行
春日井市スポーツ推進委員会
連絡協議会
広報部



高齢化社会とスポーツ

“今、スポーツ推進委員が地域での

コーディネーター役として!”

副会長 星子 浩

私の住む高蔵寺ニュータウンでは、現在人口4.5万人が住んでいます。春日井市全体としては平成26年4月に31万人に達し、少しずつですが増え続けている状況です。しかし、当ニュータウンに於いては、毎年人口が減っていく傾向にあります。小学生の人口が減り、藤山台地区では、統合計画が進められており、平成28年度には3校の小学校が、1校に統合されます。この様に子供たちが減り、高齢者だけが增加する中で、活気が失われようとしています。高齢者世帯では1人または2人住まいの世帯が増えている状況で、少しでも元気で活力のある町にする手助けが出来ないかと考えています。

スポーツ推進委員の役目には、スポーツの精神面、技術面の指導はもとより、人間関係のパイプ役、そして地域とのつながり、行政とタイアップしての地道な活動が、重要視されています。少子高齢化社会と言われ、かなりの年月が過ぎ、今ここで改めて、生涯スポーツに目を向ける必要があるかと思えます。

さらに、地域での社会福祉協議会、体育振興会、学校、子供会及び自治会などの協力を得て、その人に合った運動、ゲーム等を選択して1人でも多くの人に呼び掛け、参加を促していきたいと考えています。そして一つのきっかけになるように、機会を提供することで、楽しみや生きがいを見つけることだと思います。また、健康で元気に過ごせるような場の提供をすることが重要ではないでしょうか。

1人でも多くの方が体を動かし、病院や、薬のお世話にならないように、元気で笑顔のある町づくりに、少しでもお役に立てればと考えています。

レクリエーションスポーツ祭2014

レクリエーションスポーツ祭2014を終え

スポーツ推進委員 田中 照雄

2回目の参加となった今年のスポーツ祭、今年の担当は屋外競技G・Gホールインワンでした。前半は昨日の雨の影響か参加者がまばらで、どうなるのかな?と思っていました。徐々に参加者も増えてきて安心しました。小学生の参加が多い中、昨年より幼児連れのご家族の参加が増えた様に感じました。クラブが握れない幼児に、お手伝いのスポ少の子供も手取り足取りで教えていました。ほほえましい光景に周りの大人も自然と笑顔になりました。家族で参加できるスポーツ祭、今後ますます発展できるように、がんばろうと思った1日でした。



スポーツ祭2014に参加して

スポーツ推進委員 高崎 秀三

心配された天気も暑い位の好天に恵まれ、計画した全ての種目を行うことが出来て大変良かった。

私は『ユニホッケー』を担当した関係で、野外や第1競技場での様子は分からないが、昨年と比べて参加した子ども達が少なかった様に感じた(実数は分からないが)。折角の楽しい催しなので多くの人に参加してほしいと思うのだが…。

しかし、この様な催しは毎年続けていく事が大切で、続ける事で市民の認識も高まり、次第に参加者も増えていくと考える。

来年も、「参加してよかった。」との声が多く聞かれるよう、種目や実施方法を工夫していきたい。

レクリエーションスポーツ祭2014

スポーツ推進委員 吉田 多真美

レクリエーションスポーツ祭2014で、ビーンボウリングを担当させて頂きました。一緒にお手伝いしてくれた少年野球の子ども達が、ビーンボウリングをやりにきた幼児に優しくボールの投げ方を教え、手助けしている姿にとっても癒されました。

また、ボールが上手く当たらず親に怒ってしまい、そこから親子のバトルが……というシーンもあり、人と人が関わると色々なシーンが生まれて面白いなあと思います、見ていました。

午後の部は、少年野球の子供達もたくさん参加してくれたおかげで、昨年より人数が多く、盛り上がってとてもよかったですと思います。



レクリエーションスポーツ祭2014について

スポーツ推進委員 毛利 雅子

今回のポッチャのルールは、投げたボールが輪の中に入れば合格です。単純なゲームですが、お父さん、お母さんには5mの距離から投げるので力加減が難しそうでした。そんな中、2歳の子が上手にボール3個を輪の中に入れ、周りから拍手。合格のスタンプをもらいに走ってくる笑顔が微笑ましい光景でした。

スポーツ少年団の子どもたちも、よく動いて、参加者への気遣いもあり感じました。

今後より多くの方に楽しんでいただけるよう、推進委員の活動を行っていきたいと思います。

『地域でのスポーツの活性化を図るには』

スポーツ推進委員 福島征夫

現在、大手小学校区体育振興会におけるスポーツ推進委員の組織での位置付けは、役員と各スポーツ競技の運営委員という立場で活動をしています。

体育振興会の年間行事を推進して行くことは当然ですが、スポーツ推進委員として、地域により多くの方にニュースポーツを知ってもらい、参加していただけるかが重要です。

まず、体育振興会の人脈を使い、町内の役員の方を紹介していただくことから始める事になりました。

現在、検討している事は、「大手の老人会」「グラウンド・ゴルフ会」の皆さんにニュースポーツ競技に参加して頂けるように老人会の会長と検討中です。

次に考えていることは、各町内の方とコミュニケーションを図りながら町内ごとにニュースポーツを広めて行きたいと思っています。

まずは、一つ一つ実行に移して行きたいと考えています。時間を掛けながら、慌てず、急がず、地域でのニュースポーツの活性化に結びつける活動をして行きたいと思えます。



『インタビュー』

広報部

レクスポ祭が、去る6月8日(日)に開催されました。そこで参加者とスポーツ推進委員の皆さんにお話しをお聞きしました。

《参加者の方からは》

- ・楽しかった
 - ・面白かった
 - ・パーフェクト賞を獲れて嬉しかった……
- と言うような意見が多く寄せられました。

《スポーツ推進委員のみなさんからは》

- ・スポ少の子ども達が一生懸命手伝ってくれて助かった
 - ・スポーツ振興センターの職員の皆さんの、早朝からの準備等に感謝している
 - ・人気のある種目は行列が長くなるので、器具を増やしたらどうか
 - ・各種目スタート時間がバラバラ。一斉にスタートしてほしい
 - ・レクスポチャレンジの時間が長いのももう少し早めに終わり、対戦ゲームを早めたらどうか?
- など、次年度に向けての様々な声を聞くことができました。